

平成23年3月31日までに18歳になる皆さんへ

麻しん(はしか)予防接種を受けましょう

■問い合わせ
 こども課母子健康係
 ☎(23) 8634

市では、予防接種法の一部改正により、現行の幼児の麻しん風しん予防接種に加え、平成20年度から24年度の5年間に限って、中学1年生(第3期)および高校3年生(第4期)の年齢に相当する方を対象として、麻しん風しん混合ワクチン接種を行います。

中学1年生については、各中学校で実施しますが、各中学校で接種ができなかった場合は、こども課母子健康係までご連絡ください。

●医療機関での予防接種対象者

高校3年生相当の年齢の方(平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの方)

★社会人など学生ではない方も含まれます。

★対象者には個別に通知します。

●実施期間

4月1日(木)～平成23年3月31日(木)

●実施場所 かかりつけの医療機関

★事前に電話予約をしてください。

★市外医療機関でも受けられますが、事前にこども課母子健康係までご相談ください。

●接種内容 麻しん風しん混合ワクチンを1回

★すでに麻しんまたは風しんにかかった方でも麻しん風しん混合ワクチンまたは単抗原ワクチンの接種ができます。

●費用 市内の医療機関で受ける場合は、窓口での支払いはありません。(公費負担)

●麻しん(はしか)とワクチン接種●

麻しん(はしか)は、感染力が強いのが特徴です。感染後約10日間の潜伏期間を経て、38度の発熱・せき・鼻水・目の充血など、かぜのような症状が出ます(カタル期)。

その後、2～3日の発熱が続き、39度以上の発熱と発疹が出て、麻しん特有のコプリック斑(口の中に白いブツブツ)が現れます。

麻しんを発症すると全身の免疫力が下がるため、肺炎・中耳炎などの合併症を生じやすく、1000人に1人程度の割合で、脳炎を起こすことがあります。

また、合併症が原因で死亡することもあります。麻しんの感染予防には、ワクチン接種が有効ですが、過去にワクチンを接種していても、年数が経つにつれ、麻しんに対する免疫が下がり、麻しんにかかる場合があります(修飾麻しん)。

この場合、症状は軽く済みますが、麻しんの感染源となり、周囲の人にうつす可能性があるため注意が必要です。

中学1年生および高校3年生に相当する年齢の方は、すでに幼児期にワクチン接種を行っていると思われるのですが、1回の接種では麻しんに対する免疫が次第に低下するため、追加接種を行うことで、予防接種の効果を高めることができます。

今回実施する予防接種には、麻しん風しん混合ワクチンを使用しますので、麻しんと同時に風しんの免疫をつけることができます。

麻しんにかからないためにも、早めにワクチンの接種を受けましょう。

市内の個別予防接種実施医療機関

(14ページの「大田原市で実施している予防接種」)
 (15ページの「麻しん(はしか)の予防接種」共通)

医療機関名	所在地	電話番号	医療機関名	所在地	電話番号
大田原地区			なす療育園	北金丸2600-7	(20) 5100
青柳医院	中央2-1-2	(22) 2122	橋本内科クリニック	元町1-2-14	(22) 2220
赤羽胃腸科外科肛門科医院	城山2-5-29	(23) 1131	藤田医院	下石上1792-2	(29) 0010
阿部内科	佐久山2018	(28) 0053	増山医院	小滝1107-6	(22) 2336
磯外科小児科医院	浅香3-3711	(22) 2601	吉成小児科医院	新富町2-1-22	(22) 2412
大田原赤十字病院	住吉町2-7-3	(23) 1122	湯津上地区		
鎌田医院	薄葉2252-25	(29) 2055	増山医院	佐良土861	(98) 2008
鎌田浅香医院	浅香3-3578	(22) 2703	黒羽地区		
木戸内科クリニック	美原2-2381-153	(20) 3200	磯 医院	黒羽向町8	(54) 0020
高橋医院	滝沢355	(28) 1151	江部医院	黒羽向町60	(54) 0013
高橋外科医院	住吉町1-11-20	(22) 2624	車田医院	大豆田457-24	(54) 0062
だいなりハビリクリニック	紫塚3-2633-10	(20) 3102	くろばね齋藤醫院	黒羽田町612	(54) 0031
長嶋医院	下石上1246	(29) 0050	益子医院	大久保266	(59) 0835
那須中央病院	下石上1453	(29) 2121	益子クリニック	黒羽田町827	(54) 2727